

令和4年 小学部(生活)年間指導計画

教科・領域名		生活	学年	1年	
作成責任者			教育課程・類型	Ⅱ課程 A類型	
教科観の点目別標	知識及び技能	・社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付き、日常生活の基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。(小1段階)			
	思考力 判断力 表現力等	・自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。(小1段階)			
	学びに向かう力 人間性等	・身近な人々、社会及び自然について意欲的に学び、生活に生かそうとする態度を養うようにする。(小1段階)			
	学期	月	時数	単元名	単元の目標
一 学 期	4 月 ～ 7 月	62	・わたしの先生、友だち	【思判表力】 ・教師や友だちなど、身近な人に気づき、簡単な挨拶をしたり関わりを持つことができる。 (オ 人との関わり ア)	・教師や友だちなどの名前を知ったり、簡単な挨拶や遊びなどで関わりをもつ。
			・学校を探検してみよう	【知及技】 ・保健室や音楽室、図書室などの場所や名称を知ることができる。 (コ、社会の仕組みと公共施設 ア)	・校内探検を通して、その場所や名称を知り、そこでの活動や対応する人などを知る。
			・交通安全	【知及技】 ・信号や横断歩道の渡り方を知ったり、体験したりすることができる。(イ、安全 イ)	・信号や横断歩道の渡る時の決まりを絵カードや映像などで学習し、実際に体験する。
			・あさがおを育てよう	【思判表力】 ・種まきや水やりを通してあさがおの成長や変化に気づくことができる。 (サ、生命・自然 イ)	・あさがおの種まきや水やり、観察をする。
			・校外学習	【知及技】 ・マナーを守って公共施設の利用をすることができる。 (ケ、きまり ア) (コ、社会の仕組みと公共施設 イ)	・公共施設でのマナーを事前に学習し、実際に施設を利用する。
二 学 期	9 月 ～ 12 月	71	・買い物しよう	【知及技】 ・買い物の仕方を知ることができる。 (ク、金銭の扱い ア) (コ、社会の仕組みと公共施設 イ)	・品物を選んでレジまで持って行き、店の人に金銭を渡す。品物を袋に入れるなどの体験をする。
			・クッキングしよう	【知及技】 ・友だちと一緒に活動したり、簡単な役割を教師と一緒にしたりすることができる。(カ、役割 ア) (キ、手伝い・仕事 ア)	・簡単な調理を体験する。 ・使った調理器具やお皿の後片付けをする。
			・野菜を育てよう	【思判表力】 ・種まきや水やりを通して野菜の成長や変化に気づくことができる。(サ、生命・自然 イ)	・野菜の種を植えたり、水やりをして、育てることで成長や変化に気づく。
			・避難訓練	【知及技】 ・教師と一緒に避難したり、指示を聞いて行動したりすることができる。(イ、安全 イ)	・避難する時の決まりを学習する。教師と一緒に避難したり、指示を聞いて行動する。
			・観劇	【知及技】 ・マナーを守って公共施設の利用をすることができる。 (ケ、きまり ア) (コ、社会の仕組みと公共施設 イ)	・公共施設でのマナーを事前に学習する。 ・公共施設を利用し静かに鑑賞する。

三学期	1月 3月	37	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなおもちゃで遊ぼう ・収穫しよう ・クッキングしよう ・動物とふれあおう 	<p>【思判表力／学・人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるものの仕組みや働きに気づいたり、関心を持ったりして楽しく遊ぶことができる。 (シ、ものの仕組みと働き イ) (小1段階) <p>【知及技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の収穫をすることができる。 (サ、生命・自然 ア) <p>【思判表力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に活動したり、簡単な役割を教師と一緒にしたりすることができる。 (カ、役割 ア) (キ、手伝い・仕事 ア) <p>【知及技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物を観察したり触れたりして興味を持って関わることができる。 (コ、社会の仕組みと公共施設 イ) (サ、生命・自然 イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・風や磁石、ゴム等、ものの仕組みや働きを使ったおもちゃや道具で遊ぶ。(凧揚げ、魚つりなど) ・水やりを通して成長や変化に気づく。 ・野菜の収穫をする。 ・収穫した野菜を使って簡単な調理をする。 ・使った調理器具やお皿の後片付けをする。 ・動物園の動物を観察したり、触れたりする。
年間を通して	<p>(ア、基本的生活習慣)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事(食事前の衛生、配膳、食後の片付け、食事のマナーや態度) ・用便(尿意・便意の合図、用便の手順、用便後の衛生、男女の区別、施錠) ・身なり(衣服の着脱、長靴等の身に付け方、前後や裏表、身だしなみ) ・清潔(洗面、歯磨き、手洗い、タオルで拭く) ・身の回りの整頓(持ち物の整理、使った物の整理、決められた場所に置く) (ウ、日課・予定) ・日課・予定(簡単な日課に気づく、下校後や明日の予定) (エ、遊び) ・いろいろな遊び(好きな遊び、ごっこ遊び、遊具、簡単なルールのある遊び、道具の後片付け) (カ、役割) ・集団の参加や集団内での役割(行事、集団活動の慣れ、学級・学年・異年齢集団、係活動) (キ、手伝い・仕事) ・手伝い・仕事(物を配る、所持品の整理、清掃、後片付け) (ケ、きまり) ・きまり(自分の物と他人の物の区別、学校のきまり、日常生活のきまり) (サ、生命・自然) ・天気(晴れや雨などの天候の変化に気づく) 				
年間授業時数	(170)時間				

令和 4年 小学部(国語)年間指導計画

教科・領域名		国語	学年	1年	
作成責任者			教育課程・類型	Ⅱ課程 A類型	
教科観の点別目標	知識及び技能	日常生活の中で必要な国語について、その特質を理解し、使うことができるようにする。(小1段階)			
	思考力 判断力 表現力等	日常生活における人との関わりの中で、自分のできる方法で伝え合う力を身に付けるようにする。(小1段階)			
	学びに向かう力 人間性等	言葉等を交えたやりとりで伝え合う良さを感じるとともに、言語感覚を養い国語を大切にしようとする態度を養う。(小1段階)			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 5月 7月	76	・お話を聞こうⅠ	(知及技) 日常生活に必要ないろいろな言葉に触れ、言葉の関わりに気付くことができる。(言葉の特徴や使い方アイ)	日常生活に必要な挨拶や動作、感情を表す言葉を場面に応じて聞いたり、模倣したりする。
			・呼んでみよう	(思判表力) 身近な人に親しみを持ち、相手を見たり音声や動作で伝えようとしたりすることができる。(A聞くこと・話すことイ)	身近な人の応答(呼びかけ・返事)を見たり、音声や動作を模倣したりする。
			・マークを探そうⅠ	(思判表力) マークを見つけ、自分の物を使用することができる。(C読むこと ウ)	自分のマークや名前を探し、所定の位置に身の回りの物を片付けたり、机や椅子などを使用し、学習活動をする。
			・筆記具に親しもうⅠ	(知及技) 身近な筆記具を使って書くことに気付き、慣れることができる。(我が国の言語文化イウウツ)	興味・関心のある筆記具(クレヨン、マジック、チョーク)を使い、楽しい雰囲気の中で親しみを持って活動する。
二学期	9月 12月	86	・お話を聞こうⅡ	(知及技) 身近な事物の名前や動作に関する言葉をマッチングさせることができる。(言葉の特徴や使い方アイ)	具体物を使って、身近な事物の名前や動作を繰り返し、遊びの中で言葉と事物との関わりに気付き、言葉への親しみを持つ。
			・学校のことを聞いてみよう・話してみよう	(思判表力) 学習や学校行事などに関するカード等を手掛かりに、内容を大まかに把握し、言葉で表現しようとしることができる。(A聞くこと・話すことア)	カード(絵・写真・文字)や動画を見て、学習活動の内容を大まかに理解し、音声や動作を模倣する。
			・マークを探そうⅡ	(思判表力) マークを見つけ、自分と他人の物を区別することができる。(C読むこと ウ)	自分のマークや名前を探し、所定の位置に身の回りの物を片付けたり、机や椅子などを使用し、学習活動をする。
			・筆記具に親しもうⅡ	(知及技) 身近な筆記具を使って書くことに慣れることができる。(我が国の言語文化イウウツ)	身近な筆記具(クレヨン、ペン、チョーク、鉛筆)を使い、楽しい雰囲気の中で親しみを持って活動する。
三学期	1月 3月	76	・お話を聞こうⅢ	(思判表力) 簡単な絵本を見たり聞いたりして、言葉が表す事物をイメージすることができる。(C読むこと イ)	簡単な絵本を見聞きして、リズムカルな言葉に繰り返し触れ、言葉や動作を聞いたり模倣したりする。
			・これなあに	(知及技) 提示された絵や写真などに注目し、言葉や動作で応答することができる。(言葉の特徴や使い方ア)	絵本や絵カード、パネルシアターなどを見て、事物を表す言葉や動作を見たり、聞いたり、模倣したりする。
			・マークを探そうⅢ	(学・人) マークを見つけ、自分と他人の物を区別することができる。(小1段階)	自分や友達のマークや名前を見つけ、自分と友達の物とを区別して、所定の位置に身の回りの物を片付けたり、机や椅子などを使用し、学習活動をする。

			・筆記具に親しもうⅢ	(知及技) 身近な筆記具を使って書くことに慣れることができる。(我が国の言語文化イ(ウ)⑦)	身近な筆記具(クレヨン、ペン、チョーク、鉛筆)を使い、いろいろな線を書く。
年間授業時数			(238)時間		

令和4年 小学部(算数)年間指導計

教科・領域名		算数	学年	1年	
作成責任者			教育課程・類型	Ⅱ課程A類型	
教科観の点別標	知識及び技能	数学的活動を通して、身近にある数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。(小1段階)			
	思考力 判断力 表現力等	身近にある数量や図形の性質に気付いたり、表現したりするようにする。(小1段階)			
	学びに向かう力 人間性等	数学的活動の興味・関心を持ち、よりよく問題を解決しようとする態度、学校生活を送れるようにする。(小1段階)			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 5月 7月	39	(A数量の基礎) ・さわってみよう ・さがしてみよう ・よく見てみよう	(思判表力) ・ものの有無や因果に気付き、操作することができる。(A数量の基礎ア) (知及技) ・始点に手が届くまで見続ける力をつける。(A数量の基礎ウ)	・興味あるものを箱や布の下から取り出したり、押す、引っ張る等の操作する活動を行う。操作する面白さに気付く。 ・プットイン教材、音絵本、クーゲルバーン等
			(B数と計算) かぞえてみよう 「5までの数唱」	(思判表力) ・数唱に合わせて具体物を指すことができる。(B数と計算ア) (思判表力) ・「いち」「に」などの数唱と、動作をおこなすタイミングが一致するように促す。(B数と計算イ)	・数え歌に合わせて指で数量を示したり、具体物を指でさしたり、入れ物に入れりして数える活動を行う。 ・「パン屋のメロンパン」等の手遊び歌、「どうぶつ1・2・3」等の絵本教材、合図でくす玉を割ったり、風船を飛ばしたり等 ・ボウリングゲーム、魚釣りゲーム等
			(C図形) ・おなじものをさがそう	(思判表力) ・赤白帽やハンカチ、食器具等の具体物同士を対応できる。(C図形イ)	・明確に異なる2種類のものから始め、少しずつ量を増やしたり似ているものにしりして発展させる。 ・自分の持ち物を所定の場所に置く、給食食器の分類、買物ごっこ等
			(D測定) ・大きさがうものを運んでみよう	(知及技) ・体験を通して、二つのものの大きさの違いに気付く。(D測定ア)	・大小のボールや大小の箱運びを通して大きさの違いに気付く。 ・視覚的、触覚的に明らかに異なる「大きい・小さい」「多い・少ない」を具体物を通して、数多く体験させる。
二学期	9月 12月	52	(A数量の基礎) ・一つずつあわせてみよう	(学・人) ・もの同士を対応させることができ、進んでいろいろな具体物を配ることができる。(A数量の基礎ウ)(小1段階)	・1対1対応の理解を促す。 ・給食時の配膳。(牛乳を1個ずつ等) ・製氷皿や箱等に1つつボールを入れる等
			(B数と計算) ・おなじものをあわせよう 「マッチング」	(思判表力) ・写真やイラストと具体物を対応させることができる。(B数と計算イ)	・対応させるものが分かるように区別しやすいものから始め、少しずつ難度を上げる。 ・観察簿の写真、トイレの絵カード、場所カード等の理解 ・写真やイラストの上に具体物を載せる等
			(C図形) ・いろいろな形をみつけよう	(知及技) ・触覚で形の違いに気付き、操作することができる。(C図形ア)	・○△□の型はめやプットイン玩具の操作を通して形の相違に気付かせる。 ・ブラックボックスで中身をあてる等(果物、玩具等)
			(D測定) ・おなじ大きさを合わせてみよう	(思判表力) ・具体物の操作を通して、長さや大きさの違いに気付き、分けて入れることができる。(D測定ア)	・入れ口の大きさを具体物に合わせる。 ・操作を通して、大きさの違いに気付く。 ・爪楊枝と竹串、ビー玉とピンポン玉等のプットイン教材等、具体物を操作することを通して、違いに気付かせる。
三学期	1月 3月	45	(A数量の基礎) ・パズルをやってみよう	(知及技) ・2分割したパズルを組み合わせたることができる。(A数量の基礎ア)	・上下や色の違いの分かりやすいいろいろな車や果物のイラストで行う。 ・2分割からはじめ、徐々にパズル片を増やしたり、数種類の中からも選んだりできるようにする。
			(B数と計算) ・すうじをよもう 「数字と数詞の一致」	(知及技) ・数字と数詞を対応させて読むことができる。(B数と計算ア)	・手遊びや数字カルタを通して、数字と数詞を対応させたり、数詞を聞いて、数字を取り出したり指さしたりする活動を行う。
			(C図形) ・おなじちがうをさがそう	(思判表力) ・形の違う2種類の具体物をカゴに分類できる。(C図形ア)	・「違い」に気付けるようにする。 ・形や色が明確に異なる2種類の型から始め、慣れたら同色で取り組む。 ・ピンクのハートと銀色の丸の型抜きから、同じ銀色の丸と星の型抜きへ発展させる等
			(D測定) ・大きい・小さい 多い・少ない 「比べる言葉」	(知及技) ・「大小」「多少」等の言葉の意味が理解できる。(D測定ア)	・大きいバランスボール、小さいバランスボール等、遊びながら大小や多少の表現に気付けるようにする。 ・ボウリングゲーム、魚釣りゲーム等
年間授業時数		(136)時間			

令和 4年 小学部(音楽)年間指導計画

教科・領域名		音楽	学年	1年	
作成責任者			教育課程・類型	Ⅱ課程A類型	
教科観の点別標	知識及び技能	・音や音楽に注意を向けて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、歌唱につながる技能を身につけるようにする。(小1段階)			
	思考力判断力表現力等	・音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら感心や興味をもって聴くことができるようにする。(小1段階)			
	学びに向かう力人間性等	・音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしようとする態度を養う。(小1段階)			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月	16	・いっしょに音を楽しもう	(知及技) 音や音楽を感じて、身体を動かすことができる。(A.表現ア(ウ)㊦)	【歌唱】 「校歌」 「あいうえおともだち」 「かえるの合唱」 「やっほっほ夏休み」など 【器楽】 「幸せなら手をたたこう」など
	7月		・いろいろな音楽や曲を聴いてみよう	(思判表力) 聴こえてくる音や音楽に気付くこと。(B.鑑賞ア(イ))	【身体表現】 「あたまかたひざボン」 「大きな栗の木の下で」 「トントンひげじいさん」 「パプリカ」 「夏だよプールだよ」など 【鑑賞】 パネルシアター 「ひよこのびいちゃん」 「どんな色が好き」 「月桃」など
二学期	9月	21	・いっしょに音を楽しもう	(知及技) 音や音楽に合わせて、教師のマネをしたり、教師と一緒に身体を動かすことができる。(A.表現ア(ウ)㊦)	【歌唱】 「あいうえおともだち」 「アイアイ」など 【器楽】 「ぶんぶんぶん」 「おもちゃのチャチャチャ」 「虫の声」 「あなたのお名前は」など
	12月		・楽器を鳴らしてみよう ・好きな音色や楽器の音を聴こう	(知及技) 音や音楽を感じて、楽器の音を出すことができる。(A.表現・ア(ウ)㊦) (思判表力) 音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つけようとするができる。(B.鑑賞ア(ア))	【身体表現】 「おやつをたべよう」 「ハッピークリスマス」など 【鑑賞】 パネルシアター・バルーン 「山の音楽家」 「あわてんぼうのサンタクロース」など
三学期	1月	14	・歌に合わせて声を出そう	(知及技) 音や音楽を感じて声を出すことができる。(A.表現・ア(ウ)㊦)	【歌唱】 「あなたのお名前は」 「あくびの歌」 「校歌」 「卒業式の歌」など 【器楽】 「かわいいカステネット」 「山の音楽家」など
	3月		・楽器の音を聴いてみよう	(知及技) 音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つけようとすることができる。(B.鑑賞ア(ア))	【身体表現】 「ひっつきもっつき」 「ミッキーマウスマーチ」など 【鑑賞】 バルーン・生演奏 ピアノ・キーボード ウクレレ ベル 「コンコンクジャンのうた」など
年間授業時数		(51)時間			

令和 4年 小学部(図画工作)年間指導計画

教科・領域名		図画工作		学年		1年	
作成責任者				教育課程・類型		II 課程A類型	
教科 科 観 の 点 目 標	知識及び技能	色や形、素材に興味・関心を持ち、身近な材料や用具を用いることができる。(小1段階)					
	思考力 判断力 表現力等	自由に制作活動に取り組み、自分や友達作品に親しむことができる。(小1段階)					
	学びに向かう力 人間性等	多くの制作活動にふれ、いろんな感触や制作の面白さを感じ、豊かな感性を広げようとする。ことができる。(小1段階)					
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容		
一 学 期	4 月 ～ 7 月	19	・絵の具遊び	(知及技) ・色と色の合成をしたり、色を薄めたりする変化を楽しむ。 (A表現 ア(イ))(共通事項 (イ))	・色を混ぜて遊ぶ。 ・画用紙に描いてみよう。		
			・主な季節行事 こいのぼりの制作 母の日(プレゼント作り) 父の日(プレゼント作り) 七夕飾り作り	(知及技) ・手のひらで絵の具の感触を感じながら、制作活動ができる。 (A表現 ア(イ))(共通事項 (イ))	・手のひらに絵具を塗って手形をとろう。		
二 学 期	9 月 ～ 12 月	21	・版画	(知及技) 指などで描いた模様が紙にうつるといふ体験を通して、版画の仕組みに気付き、興味関心をもつ。(共通事項 (ア))	・スチレンボードに、ペンやフォークなどの道具を使い模様をつけ、ボスターカラーを塗りつけ画用紙に写す。		
			・主な季節行事 敬老の日(プレゼント作り) ハロウィン クリスマス	(知及技) ・手のひらで絵の具の感触を感じながら、制作活動ができる。 (A表現 ア(イ))(共通事項 (ア))	・手のひらに絵具を塗って手形をとろう。		
三 学 期	1 月 ～ 3 月	11	・造形	(知及技) ・手指を使って粘土をこねる、ちぎるなどができる。 (A表現 ア(イ))(共通事項 ア(ア))	・粘土を使って、色々な形を作ってみたり、形を合わせて作品を作る。		
			・主な季節行事 節分 ひな祭り	(知及技) ・手のひらで絵の具の感触を感じながら、制作活動ができる。 (A表現 ア(イ))(共通事項 ア(ア))	・手のひらに絵具を塗って手形をとろう。		
年 指 間 導 を す 通 る し て			・見たこと体験したことを表現しよう	(知及技) ・はさみやのり等の道具を使って、制作活動ができる。 (A表現 ア(イ))(共通事項 ア(ア))	・道具の使い方を知らう。		
			・作品の鑑賞	(思判表力) ・自分や友達作品に親しむことができる。 (B鑑賞 ア(ア))	・粘土をこねてみよう。 ・粘土で形を作ろう。		
年間授業時数			(51)時間				

令和 4年 小学部(体育)年間指導計画

教科・領域名		体育	学年	1年	
作成責任者			教育課程・類型	Ⅱ 課程A類型	
教科観の点別目標	知識及び技能	・基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身につけるとともに、健康や身体の変化について知ることができるようにする。(小1段階)			
	思考力 判断力 表現力等	・基本的な運動を通して、考えたこと、気づいたことを他者に伝える力を養う。(小1段階)			
	学びに向かう力 人間性等	・簡単なきまりを守り、友達と安全に楽しく運動をしようしたり、健康に必要な事柄をしようしたりする態度を育てる。(小1段階)			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一 学 期	4 月 ～ 7 月	22	・体を動かそう	(知及技) ・教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。(A体づくり運動遊びア)	・ウォーミングアップ・あつまりっこ・すもう ・固定遊具遊び
			・走ったり、跳んだりしよう	(知及技) ・教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。(C走・跳の運動遊びア)	・かけっこ ・大縄とび
			・水遊びをしよう	(学・人) ・簡単な合図や指示に従って、水遊びをすることができる。(D水遊びウ) (小1段階)	・水かけっこ・輪っかとり
			・大玉転がしをしよう	(思判表力) ・簡単な合図や指示に従ってボール遊びをすることができる。(Eボール遊びウ)	・大玉転がし(転がす、受け止める、的に当てる)
二 学 期	9 月 ～ 12 月	29	・かけっこをしよう	(知及技) ・教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。(C走・跳の運動遊びア)	・かけっこ
			・サーキット遊びをしよう	(知及技) ・教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。(B器械・器具を使つての遊びア)	・サーキット遊び(平均台、トンネルくぐり、跳び箱など) ・固定遊具遊び
			・玉入れをしよう	(思判表力) ・ボールを使って楽しく体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(Eボール遊びイ)	・玉入れ
			・リズムダンスをしよう	(思判表力) ・体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(F表現遊びイ)	・リズムダンス

三 学 期	1 月	17	・持久走をしよう	(思判表力) ・教師の支援を受けながら、5～8分 程度の時間を歩いたり、走ったりする ことができる。(C走・跳の運動遊び ア)	・持久走
	3 月		・ボール遊びをしよう	(学・人) ・簡単な合図や指示に従ってボール 遊びができる。(Eボール遊びウ) (小1段階)	・鬼遊び、ボール蹴り遊び
年間授業時数			(68)時間		

令和4年 小学部(特別の教科 道徳)年間指導計画

教科・領域名		道徳	学年	1年	
作成責任者			教育課程・類型	Ⅱ 課程A類型	
道徳科の視点	A:自分自身に関する事	・よいことや悪いことの違いが分かり、わがままをしないで規則正しい生活を送り、できることは最後までやり抜こうとする態度を養う。(小1段階)			
	B:人との関わりに関する事	・気持ちのよい挨拶や言葉使い、動作などに心がけ、身近にいる人と仲良くし、助け合う心を育てる。(小1段階)			
	C:集団や社会との関わりに関する事	・約束や決まりを守り、手伝いや与えられた仕事に進んで取り組む態度を養う。(小1段階)			
	D:生命や自然、崇高な物との関わり	・身近な自然に親しみ、動植物に優しく接する心を育てる。(小1段階)			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 5月 7月	10	(B礼儀) ・元気に挨拶しよう	・場面に応じた挨拶を知り、相手を意識して挨拶をする良さに気付くことができる。	・「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ごめんなさい」「ありがとう」等、場面に応じた挨拶を知る。
			(A節度、節制) ・上手に手洗い	・健康を守ることの大切さに気付き、きれいに手を洗おうとすることができる。	・絵本「バイバイ菌」の読み聞かせを聞き、健康の大切さについて知る。 ・手洗いの歌で上手な手洗いを知る。
			(A善悪の判断、自律、自由と責任) ・よいこと?悪いこと?	・よいことと悪いことに気付き、よい行動を取ろうとすることができる。	・読み聞かせやロールプレイを通して、よいことと悪いことについて知る。
二学期	9月 12月	13	(B友情、信頼) ・友達と仲良く	・学級や学年の友達を意識して、仲良くすることの大切さに気付くことができる。	・「くいしんぼうとおかしのいえ」のアニメーション見て、横取りをすること、仲良く分け合うことのどちらが良いか選択する。
			(C勤労・公共の精神) ・係活動	・自分の係が分かり、教師の言葉かけを受けたり、自分から進んで取り組んだりする。	・健康観察簿をとってきたり、返却したりする。 ・朝の会の司会や号令をかける。
			(C規制の尊重) ・ゆずりあいっこできるかな	・簡単な決まりやルールを知り、譲り合いや順番を守ることができる。	・絵本「ナンタンのぶらんこのせて」の読み聞かせを聞き、譲り合いごっこを通して決まりを知る。
			(B感謝) ・働く皆さんありがとう	・身近な人に「ありがとう」と感謝の言葉を伝える心地良さを味わうことができる。	・働く良さを知り、身近な人へ「ありがとう」と伝える。
三学期	1月 3月	11	(A個性の伸長) ・自分のことを知ろう	・自分の好きな事、苦手なことを知り、自分の良さに気付くことができる。	・自分の写真を見て、自分の良さを振り返る。好きな事、苦手な事を知る。
			(D自然愛護) ・動物に優しく	・身近な動植物や昆虫に触れ、自然に親しむことができる。	・身の回りの植物や昆虫に触れる。 ・動物のぬいぐるみを使用し、優しい触り方を知る。
			(A希望と勇氣、強い意志) ・自分の成長を振り返ろう	・頑張ったことや成長を確認し、自分の行動を振り返ることができる。	・写真や動画を見て、1年間の自分の成長を振り返る。
年間授業時数		(34)時間			

令和4年小学部(特別活動)年間指導計画

教科・領域名		特別活動	学年	1年	
作成責任者			教育課程・類型	II 課程A類型	
教科観の点別目標	知識及び技能	・実践的な集団活動を通して、友達への関わり方について学び、望ましい人間関係が形成できるようにする。(小1段階)			
	思考力 判断力 表現力等	・集団の一員として学校生活に必要な係に取り組むことができるようにする。(小1段階)			
	学びに向かう力 人間性等	・様々な集団活動を通して、よりよい学校生活を築こうとする態度を育てる。(小1段階)			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	11	・学年、学級開き	(知及技) ・集団での活動に参加することができる。 ・学級、学年の一員であることを知ることができる。	・学年、学級の先生、お友達の紹介
			・1学期がんばろう会 ・学級目標を考えよう ・自分のことを考えよう ・係活動を決めよう	(知及技) ・1学期の行事を知ることができる。 (学・人) ・学級をよりよくするための目標を教師と一緒に考えることができる。(小1段階) (思判表力) ・自分の名前、好きなもの等を教師と一緒に紹介することができる。 (学・人) ・教師と一緒に1学期の目標を考えることができる。(小1段階) (思判表力) ・集団の一員として、自分に何ができるか教師と一緒に考えることができる。	・行事の紹介 ・学級目標をみんなで決める ・キャリアパスポートの活用 自己紹介シートの作成 1学期の目標 ・自分の係を決める
二学期	9月 ～ 12月	13	・2学期がんばろう会 ・自分のことを考えよう	(知及技) ・集団での活動に参加することができる。 (思判表力) ・2学期の行事を知り、がんばりたいことや楽しみなことを考えることができる。 (学・人) ・教師と一緒に2学期の目標を考えることができる。(小1段階)	・行事の紹介 ・がんばりたいことの発表 ・キャリアパスポートの活用 2学期の目標
			・お祝いしよう ・運動会について ・50周年式典について ・校外学習に行こう ・お楽しみ会を開こう ・2学期がんばった会	(思判表力) ・お祝いされる喜びを感じたり、友達の誕生日を祝うことができる。(小1段階) (知及技) ・運動会について知ることができる。 (思判表力) ・運動会をふり返り、がんばったこと等を発表することができる。 (学・人) ・学校の創立記念について知ることができる。(小1段階) (知及技) ・校外学習の日程や内容を知り、期待感を持つことができる。 (思判表力) ・集団での活動を楽しむことができる。 (思判表力) ・2学期にがんばったことや楽しかったことをふり返ることができる。	・誕生会 ・運動会の事前、事後学習 ・創立50周年記念式典 ・校外学習の事前学習 ・クリスマス会 ・2学期のふり返り、がんばったことの発表

三 学 期	1 月 ～ 3 月	10	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期がんばろう会 ・自分のことを考えよう ・お祝いしよう ・児童集会 ・校外学習に行こう ・1年生がんばった会 	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団での活動に参加することができる。 ・3学期の行事を知ることができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に3学期の目標を考え、目標に向かって努力することができる。(小1段階) <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の誕生日を祝うことができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことをみんなに知ってもらえることができる。(小1段階) <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外学習の日程や内容を知り、期待感を持つことができる。(小1段階) <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間のふり返し、楽しかったことやできるようになったことを発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の紹介 ・キャリアパスポートの活用 3学期の目標 ・誕生会 ・ぼくたち、わたしたちの紹介 ・校外学習の事前学習 ・1年間のふり返し、がんばったことの発表
			年間授業時数	(34)時間	